

今回は「千葉県立松戸六実高等学校」の美術部の活動を見学。



■愛称・略称は「六実高」。

生徒の8割以上が、部活動に積極参加。

JR総武線「船橋」駅で東武野田線に乗り換えて、「柏」行きに乗車。千葉県立松戸六実高等学校は、この沿線にある「六実」駅から徒歩15分、ひとつ先の「高柳」駅から徒歩12分の場所にあります。1978年(昭和53年)4月の開校以来、地域とともに歩み愛される学校として、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成に情熱を傾けている学校です。そして、校訓を「誠実」と定めており、夢と希望の実現、活力みなぎる生徒の育成を目指し取り組んでいます。部活動がたいへん盛んで、生徒の8割以上が運動部あるいは文化部に所属。それぞれが積極的な活動を行っています。



現在、27名の部員たちが美術部で活動。

松戸六実高校は普通科の高校ですので、美術系やデザイン系の科が設置されているわけではありません。しかし、伝統的に美術部の活動がとても盛んなことでも知られています。今回は、この六実高校の美術部の様子を見学させていただきました。まずは進路指導主事で美術部の顧問でもある中田誠先生にお話をお聞きしました。「現在、美術部には27名の部員がいます。活動の内容はクロッキーと自由制作です。自由制作の中には、油彩画、水彩画、平面構成、デッサンなどが含まれています。7時間目の授業が終了した後の、午後4時から7時を活動時間にあてています」

全員参加のクロッキーから部活動が開始。

教室に入ると、ちょうど今日の部活動がスタートしたところでした。最初は全員でクロッキーを行うということです。さっそくモデル役の生徒が机の上に入り、ポーズをとりはじめました。短時間で対象を描くクロッキーを重ねることで、全体のバランスを素早く正確にとらえる技術を学んでいきます。クロッキーのあとは、それぞれの制作に移っていきます。1年生たちは千葉県愛鳥週間作品コンクールのポスターを描いていました。2、3年生たちは、いまは自由制作に取り組んでいます。少し前までは松戸・東葛地区高校美術展に出展する作品制作に集中していたということです。



■部活動はクロッキーから始まります。



■課題や自由制作に取り組む生徒たち。

30号や50号の大きなサイズにも挑戦。

部長さんに聞くと「とにかく、みんな元気です。先輩後輩の垣根を越えて仲がいいのが、美術部の特徴です」と答えてくれました。その言葉通り、とても明るい雰囲気の中で部活動は行われていました。また、中田先生によると「1年生も、夏休みから30号サイズの大きな作品制作に入る」とのこと。さらに2、3年生は50号サイズの油彩画にチャレンジするというお話でした。美術・デザイン系の大学や専門学校へ進む生徒も多く、アサビにも松戸六実高校の卒業生が在籍中です。中田先生、美術部の皆さん、翌日から試験という忙しい時期に取材させていただき、ありがとうございました。

【School Data】 〒270-2203 千葉県松戸市六高台5-150-1 TEL.047-385-5791
<http://www.chiba-c.ed.jp/mutsumi-h/>